



平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 浜松ホトニクス株式会社

コード番号 6965 URL <http://www.hamamatsu.com/ja/ir/index.html>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 晝馬 明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 嶋津 忠彦

TEL 053-452-2141

四半期報告書提出予定日 平成26年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第3四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	82,912	11.0	15,946	30.2	16,384	24.2	10,872	26.9
25年9月期第3四半期	74,712	0.7	12,245	△11.7	13,191	△8.0	8,567	△2.2

(注) 包括利益 26年9月期第3四半期 11,976百万円 (△13.1%) 25年9月期第3四半期 13,778百万円 (55.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年9月期第3四半期	135.24	—
25年9月期第3四半期	106.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年9月期第3四半期	211,889	162,173	76.3
25年9月期	198,278	154,385	77.6

(参考) 自己資本 26年9月期第3四半期 161,627百万円 25年9月期 153,873百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年9月期	—	23.00	—	27.00	50.00
26年9月期	—	25.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	30.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年9月期期末配当金の内訳 普通配当 23円00銭 記念配当 4円00銭

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	115,200	12.8	21,900	30.5	22,300	24.7	15,100	31.0	187.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年9月期3Q	83,764,984 株	25年9月期	83,764,984 株
26年9月期3Q	3,370,597 株	25年9月期	3,370,195 株
26年9月期3Q	80,394,608 株	25年9月期3Q	80,394,936 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益が改善するなかで、設備投資が増加し、雇用情勢も改善傾向が続くなど、個人消費等は消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動がみられるものの、景気は緩やかな回復基調の中で推移いたしました。

このような状況におきまして、当社グループは、光に関する研究開発を推進し、顧客ニーズに応えた製品の開発を継続する一方で、積極的な営業活動に引続き取り組むことで、売上高、利益の増加に努力してまいりました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、売上高は82,912百万円と前年同期に比べ8,200百万円(11.0%)の増加となりました。また、利益面につきましても、営業利益は15,946百万円と前年同期に比べ3,701百万円(30.2%)の増加、経常利益は16,384百万円と前年同期に比べ3,193百万円(24.2%)の増加、四半期純利益は10,872百万円と前年同期に比べ2,304百万円(26.9%)の増加となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[電子管事業]

光電子増倍管は、PETなどの核医学検査装置向けの売上げが堅調に推移するとともに、海外における深海ニュートリノ実験等の学術分野向けの売上げが増加いたしました。しかしながら、産業分野向けの売上げが減少いたしました。

イメージ機器及び光源は、医用分野におきまして、X線画像を可視像に変換するX線シンチレータの売上げが米国を中心に増加いたしました。また、産業分野におきまして、半導体検査装置向けのキセノンランプ等の売上げが好調であったほか、X線非破壊検査用のマイクロフォーカスX線源が高精細な透過画像を得られる点が評価され、売上げを伸ばしました。

この結果、電子管事業といたしましては、売上高は33,974百万円(前年同期比5.1%増)、営業利益は12,616百万円(前年同期比5.4%増)となりました。

[光半導体事業]

光半導体素子は、医用分野におきまして、主力のシリコンフォトダイオードが、需要が回復し売上げが増加したほか、フラットパネルセンサが、高解像度や高分解能などを高く評価され、歯科用を中心に引続き好調に推移いたしました。さらに、産業分野におきましても、イメージセンサが半導体検査装置向けの需要が高まり売上げが増加いたしました。

この結果、光半導体事業といたしましては、売上高は36,536百万円(前年同期比19.0%増)、営業利益は12,238百万円(前年同期比36.6%増)となりました。

[画像計測機器事業]

画像処理・計測装置は、デジタルカメラが、生命科学やバイオ分野において好調に推移するとともに、電子機器の基板検査等に用いられるX線TDIカメラがその高速応答性を評価され売上げを伸ばしました。また、病理デジタルスライドスキャナも新製品の投入により売上げが増加いたしました。

この結果、画像計測機器事業といたしましては、売上高は9,866百万円(前年同期比2.9%増)、営業利益は1,486百万円(前年同期比25.5%増)となりました。

[その他事業]

主に半導体レーザー事業及びホテル事業等であります。

当セグメント(その他)の売上高は2,534百万円(前年同期比21.3%増)、営業利益は272百万円(前年同期比390.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産の主な変動は、現金及び預金が3,497百万円、受取手形及び売掛金が1,056百万円それぞれ増加したことなどから、流動資産は前連結会計年度末に比べ6,534百万円増加しております。

固定資産の主な変動は、製造用工場の新築に伴う建設仮勘定の増加により、有形固定資産が7,391百万円増加したことなどから、固定資産は前連結会計年度末に比べ7,077百万円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ13,611百万円増加し、211,889百万円となりました。

流動負債の主な変動は、電子記録債務が3,080百万円、1年内返済予定の長期借入金が2,995百万円それぞれ増加したことなどから、流動負債は前連結会計年度末に比べ10,067百万円増加しております。

固定負債の主な変動は、長期借入金が3,135百万円減少したことなどから、固定負債は前連結会計年度末に比べ4,242百万円減少しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べ5,824百万円増加し、49,716百万円となりました。

純資産は、四半期純利益の計上により利益剰余金が6,685百万円増加したほか、為替換算調整勘定が1,053百万円増加したことなどから、当第3四半期連結会計期間末の純資産は前連結会計年度末に比べ7,787百万円増加し、162,173百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月期通期の連結業績予想につきましては、平成26年5月12日付けで公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、業績予想の前提となる為替レートにつきましては、1米ドル=100円、1ユーロ=140円を想定しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	78,603	82,101
受取手形及び売掛金	24,183	25,240
商品及び製品	6,277	6,661
仕掛品	12,977	13,787
原材料及び貯蔵品	5,849	6,522
その他	5,062	5,193
貸倒引当金	△158	△176
流動資産合計	132,795	139,329
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,485	21,133
機械装置及び運搬具(純額)	7,801	7,812
工具、器具及び備品(純額)	3,391	3,356
土地	15,822	15,909
リース資産(純額)	207	155
建設仮勘定	4,831	12,566
有形固定資産合計	53,541	60,933
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	2,412	2,458
繰延税金資産	6,217	6,170
その他	1,633	1,314
貸倒引当金	△18	△19
投資その他の資産合計	10,243	9,924
固定資産合計	65,482	72,560
資産合計	198,278	211,889
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,752	5,327
電子記録債務	4,432	7,512
短期借入金	1,380	1,510
1年内返済予定の長期借入金	186	3,182
未払法人税等	1,418	2,183
賞与引当金	3,156	4,668
その他	9,951	12,961
流動負債合計	27,277	37,344

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
固定負債		
長期借入金	7,084	3,948
退職給付引当金	7,609	6,570
その他	1,921	1,853
固定負債合計	16,614	12,372
負債合計	43,892	49,716
純資産の部		
株主資本		
資本金	34,928	34,928
資本剰余金	34,672	34,672
利益剰余金	90,309	96,995
自己株式	△6,048	△6,050
株主資本合計	153,862	160,546
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	541	557
為替換算調整勘定	△530	523
その他の包括利益累計額合計	11	1,081
少数株主持分	512	546
純資産合計	154,385	162,173
負債純資産合計	198,278	211,889

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
売上高	74,712	82,912
売上原価	37,161	39,399
売上総利益	37,550	43,513
販売費及び一般管理費	25,305	27,566
営業利益	12,245	15,946
営業外収益		
受取利息	110	146
投資不動産賃貸料	32	63
為替差益	534	29
持分法による投資利益	63	50
その他	349	291
営業外収益合計	1,089	582
営業外費用		
支払利息	75	64
不動産賃貸費用	32	56
その他	34	23
営業外費用合計	143	144
経常利益	13,191	16,384
特別利益		
固定資産売却益	16	5
補助金収入	49	2
投資有価証券売却益	46	—
特別利益合計	112	7
特別損失		
固定資産売却損	6	3
固定資産除却損	21	39
固定資産圧縮損	37	2
投資有価証券評価損	—	3
特別損失合計	65	49
税金等調整前四半期純利益	13,238	16,343
法人税等	4,664	5,447
少数株主損益調整前四半期純利益	8,573	10,895
少数株主利益	5	23
四半期純利益	8,567	10,872

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,573	10,895
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	285	16
為替換算調整勘定	4,854	1,063
持分法適用会社に対する持分相当額	64	1
その他の包括利益合計	5,205	1,081
四半期包括利益	13,778	11,976
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,690	11,942
少数株主に係る四半期包括利益	88	34

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子管	光半導体	画像計測機 器	計				
売上高								
外部顧客への売上 高	32,338	30,700	9,584	72,623	2,088	74,712	—	74,712
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	949	456	40	1,447	496	1,944	△1,944	—
計	33,288	31,157	9,624	74,070	2,585	76,656	△1,944	74,712
セグメント利益	11,972	8,956	1,184	22,113	55	22,168	△9,923	12,245

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、半導体レーザー事業及びホテル事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△9,923百万円には、セグメント間取引消去△713百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△9,210百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的研究費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子管	光半導体	画像計測機 器	計				
売上高								
外部顧客への売上 高	33,974	36,536	9,866	80,377	2,534	82,912	—	82,912
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	974	541	35	1,551	684	2,235	△2,235	—
計	34,949	37,078	9,901	81,929	3,219	85,148	△2,235	82,912
セグメント利益	12,616	12,238	1,486	26,341	272	26,613	△10,666	15,946

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、半導体レーザー事業及びホテル事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△10,666百万円には、セグメント間取引消去△852百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△9,813百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的研究費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。